

平成 29 年度 すこやかメールマガジン 第 542 号【できる子を目指さない】5 月 2 日配信

みなさんこんにちは (^_^) /

あっという間に 4 月が過ぎ 5 月に入りましたが、子どもたちは外で遊ぶことも多くなってきたのではないのでしょうか。

さて、先日は、我が子 2 人（年長と年少）の幼稚園の参観日でした。その日は天気も良く、参観が終わったあと園庭が開放されていたので、少し遊ぶことにして二人の様子を見ていました。

年長さんの方は、ジャングルジムやすべり台などあちこち飛び回って、お友達やそのお家の方にまで声をかけたりしながら楽しそうに遊んでいます。一方、年少さんはというと、一人立ったまま動かず、黙ってじっと何かを見つめています。どうやらブランコに乗りたけれどもすでにお友達が遊んでいて、「代わって」と言い出すことができずにいるようです。

もちろん、ブランコは誰かが独り占めしているわけではありません。ほかの園児たちはお互いにコミュニケーションをとり、乗り手は次々に代わっています。しばらくして、我が子が近づいてきました。

子ども「ブランコに乗りたい〜」（目に涙を浮かべながら）

私「ブランコに乗りたいんだね〜」

子ども「乗りたい〜」（園庭に座り込む）

私「ほかのお友達が乗っているね〜」

子ども「乗りたい〜」（園庭に寝そべる）

私「あっ、乗っているお友達が代わったよ〜」

子ども「乗りたい〜」（砂まみれになる）

その後、空いたブランコに乗って遊ぶことはできましたが、「代わって」の一言を言い出すことは、最後までできませんでした。

親が子どもにできるようになってほしいと望むことはたくさんあります。今回のように「友達とうまく遊べる」「モノを貸し借りすることができる」のほかにも、例えば「卒乳」や「おむつがはずれる」「食べ物の好き嫌いがなくなる」「人にあいさつができる」「大人の話が聞ける」「生活で必要なことをやろうとする」、将来的には「勉強する」などなど。

「保育士おと一ちゃん」として知られる子育てアドバイザーの須賀義一さんによると、子どもが育ちの中で身につけていく「できること」は、そのほとんどがその子のペースではあるけれども、周囲の子どもを見たり、自分で経験したりしながら自然と身につけていくものだといいます。そこで大人が「できる子」を目指してしまうと、どんどん過干渉になっていき、子どもが自分の力でそれをやれるまで、やろうとするまで、待ってあげることができなくなり、それが大きく積み重ねられてしまうと、子育て全体が子どもの支配や管理になってしまうそうです。

子どもの「〇〇ができない」「〇〇が苦手」「成長が平均よりもゆっくり」といったことは、親として気になります。けれども、支配や管理で子どもの姿を大人の思い通りにするのではなく、子どもがまだ小さいうちはあわてず騒がず、「ああ、そうなんだ」「そういう個性を持っているんだな」とあたたかく見守り、子ども自身を伸ばす子育てをしていきたいと思っています。【M】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしくお願ひします(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索